

第4回工業団地アクセス（バス等）検討部会及び 環境整備・交通対策推進委員会議事録

1 日時・場所 2026年1月22日（木）14:00～15:37
公民センター・1F会議室

2 出席者 白井市都市計画課：武藤課長、吉川副主幹、木山主事
京成バス千葉セントラル(株)：大庭営業部長、太田営業課課長補佐
工業団地アクセス（バス等）検討部会
茂呂部会長（フクダ電子(株)）、小杉副部会長（オーベクステクノロジー(株)）、
野中委員（菊川工業(株)）、小杉委員（酒井医療(株)）、
伊原委員（エイシア工業(株)）
三 役：尾籠副代表理事
事務局：岡田事務局長、塚原事務局職員

3 議事事項

第1号議事 部会・白井市・京成バス千葉セントラル(株)との意見交換

- ・茂呂部会長により会議が進行された。
- ・会議の参考資料として、白井市七次台⇄鎌ヶ谷大仏のバス路線（京成バス千葉ウエスト(株)：西白井線）については、本年1月16日（金）から平日は9本⇒4本に減便、土日祝は8本⇒運行なし となることを部会員と情報共有するために配布した。
- ・茂呂部会長から、工業団地アクセス（バス等）検討部会のこれまでの検討内容を説明し、出席者と共有した。
- ・白井市都市計画課からは、①白井市地域公共交通計画の骨子（案）、②市民活動団体及び東京都市大学共催で実施したグリーンスローモビリティ実証実験の結果、③シェアサイクルの導入についての説明があった。

（市都市計画課）

- ・①白井市地域公共交通計画の骨子（案）は、計画期間を令和8年度から令和12年度までの5年間とし、5つの課題に対応するため、4つの基本方針を掲げ、13の施策に取り組んでいく。
- ・工業団地に関連する主なものは、施策1-1コミュニティバスのルート・ダイヤの見直しとして、七次台地区や工業団地（第一工業団地・第二工業団地）の通勤通学輸送を補完すること。民営路線バスとの並行区間では、当該事業者とダイヤや行き先を調整し補完・共生などがある。
- ・地域公共交通計画骨子案に基づいた、コミュニティバスのルート・ダイヤの見直しについては、令和10年9月頃に移行できるものと考えている。
- ・シェアサイクルについては、自転車貸出・返却ステーションを交通結節点となる市役所、白井駅前、西白井駅前のほか、公民センターや公園など、市が所有する土地に設置していく。本年3月頃から利用可となる。

（京成バス千葉セントラル(株)）

- ・事務局から、京成バス千葉ウエスト(株)の減便の話があったが、当社においても古い路線については七次台と同様である。白井工業団地の路線については、一定数の乗車があるので京成バス千葉ウエスト(株)のようなことはない。

【意見交換】

- ・ 幹線バス・グリスロ・シェアサイクルをすべて活用したものがベストだと思うが、拠点までの幹線はバス、拠点からの周辺移動はグリスロなど、ベター策でも良い。
- ・ 企業のバスをシェアする場合、白井市からの補助金交付は見込まれるのか？
⇒（市）・他の自治体の例で、行きの便で各企業の従業員を乗車し、帰りの便で地域住民が乗車できるバスについては助成している事例がある。公共性・公益性があれば助成もあり得る。
- ・ 現在、当協議会の会員で送迎バスを導入している企業が、コスト増に伴い4月から送迎バスを廃止する企業がある。第二工業団地には路線バスが運行されておらず、従業員は、ローソンから自転車や徒歩で移動することになる。シェアサイクルを工業団地で先行して取り組む考えはないか？
⇒（市）シェアサイクルのステーションに公民センターを入れる際、事業者側は乗り気ではなかったのでは、おそらく採算がとれないものと考えているのではないか。
- ・ 工業団地までの路線を増便ではなく、第二工業団地まで行く便が1便あるだけで助かる。貸切バスで対応しようとした場合、金額はおおよそいくら？
⇒（京成バス千葉セントラル株）・乗務員不足や安全な運行を担保するため、国交省は基準額を増額している。貸切バスの金額は、距離×時間×乗務員拘束時間で積算することになる。白井駅～工業団地まで片道約10kmで通常は15分で到着するが、朝は30分かかる。貸切バス1台で1往復又は2往復して、その便に多くの従業員が乗車してくればコストは抑えられる。
- ・ 路線バス、市の循環バス、企業のシェアバスや貸切バスなどの運行ダイヤをコーディネートしてもらうことはできるのか？
⇒（京成バス千葉セントラル株）・可能である。

第2号議事 今後の会議日程の件

- ・ 第5回会議 2026年2月26日（木）14：00～ 公民センター会議室
- ・ 今後の対応について検討する。